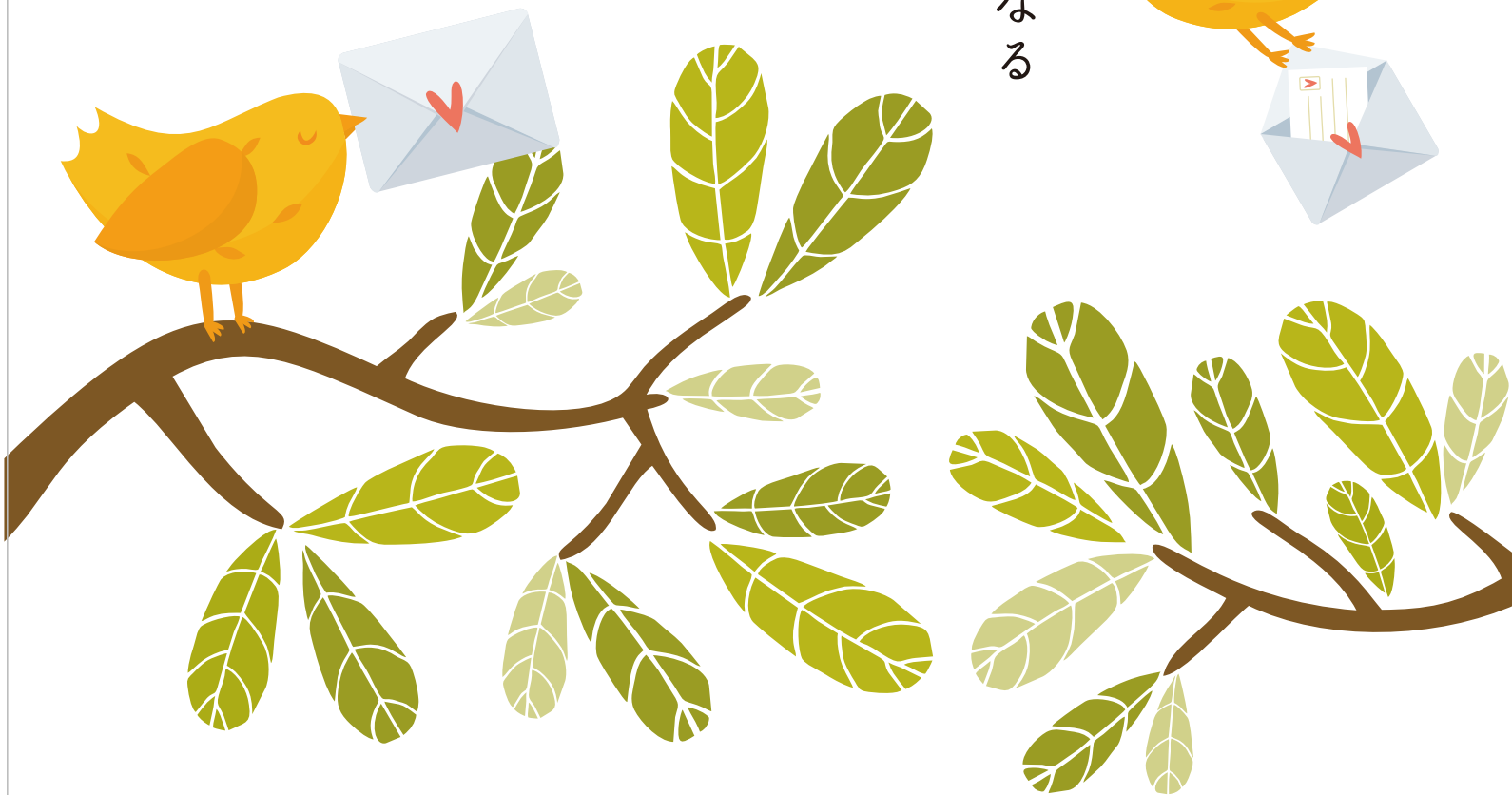




熊本の未来を創る 熊本地震後に見られた熊本の心

熊本の未来の創り手となる
子供たちのために



平成 28 年熊本地震関連教材

つなぐ ～ 熊本の明日へ～

小学校 1.2 年用



地震が起きたときに、
お母さんが守ってくれた詩「お母さんへ」。

教材の紹介

1. くばられたあたたかい心	B (6) 親切、思いやり
2. おいしかったごはん	C (12) 勤労、公共の精神
3. しょう来のゆめ	C (12) 勤労、公共の精神
4. こわい思いのなかで	C (12) 勤労、公共の精神
5. ぼくの家ぞく	C (13) 家族愛、家庭生活の充実
6. わたしのたからもの	C (13) 家族愛、家庭生活の充実
7. 村のすてき	C (15) 伝統と文化の尊重、 国や郷土を愛する態度
8. みんなのどうぶつ園	C (15) 伝統と文化の尊重、 国や郷土を愛する態度
9. お母さんへ	D (17) 生命の尊さ
10. 大切ないのち	D (17) 生命の尊さ
11. うさぎのリボン	D (18) 自然愛護

「道徳の授業以外での活用」
読み物資料の紹介 小学校 1・2 年 9 教材

1. いいこと言うね	5. ありがとう
2. わたしのゆめ	6. がんばったわたしの家ぞく
3. ありがとうをつなぐおりづる	7. やくぞく
4. 手をつないでいたよ	8. よかったあ
	9. はじめて知ったよ

小学校 3.4 年用



地震の影響が少なかった地域の
児童が相手を思い行動した「元気米」。

教材の紹介

1. ごほうびの花	A (5) 希望と勇気、 努力と強い意志
2. 今 わたしのできること	B (6) 親切、思いやり
3. 元気米	B (6) 親切、思いやり
4. 五十年後のお返し	B (7) 感謝
5. しんさいボランティア	C (13) 勤労、公共の精神
6. 明るいひなん所	C (13) 勤労、公共の精神
7. わたしの家族	C (14) 家族愛、家庭生活の充実
8. お父さんはヒーロー	C (14) 家族愛、家庭生活の充実
9. わたしたちのプロジェクト	C (15) よりよい学校生活、 集団生活の充実
10. ここがいい	C (16) 伝統と文化の尊重、 国や郷土を愛する態度
11. 助かった命	D (18) 生命の尊さ

「道徳の授業以外での活用」
読み物資料の紹介 小学校 3・4 年 9 教材

1. 地しんから得たもの	5. 心のささえ
2. おばあちゃんのハッピーパースデー	6. さやかへ
3. 卒業生のおにぎり	7. 家族っていいな
4. 熊本のたから さい発見	8. 心のボタン
	9. 今ある命、日じょうを考える

子供たちに伝えたい 「助けあい 励ましあい 志高く」



小学校

5.6年用



避難所に避難した児童が自分にできることを
考え行動した「ヤカンを持った人」。

教材の紹介

- | | |
|-----------------------------|--------------------------------|
| 1. 救える命をふやしたい
～河田 のどかさん～ | A (5) 希望と勇気, 努力と強い意志 |
| 2. 熊本城、奇跡の一本石垣 | A (5) 希望と勇気, 努力と強い意志 |
| 3. 私にできること | B (7) 親切, 思いやり |
| 4. 伝えたい思い
～南三陸から熊本へ～ | B (8) 感謝 |
| 5. お父さんの笑顔 | C (14) 勤労, 公共の精神 |
| 6. ヤカンを持った人 | C (14) 勤労, 公共の精神 |
| 7. 父と母の姿から | C (15) 家族愛, 家庭生活の充実 |
| 8. がんばれ熊本、がんばれ西原
(防災無線) | C (16) よりよい学校生活,
集団生活の充実 |
| 9. こわれたおじいちゃんの家 | C (17) 郷土の伝統と文化の尊重,
国を愛する態度 |
| 10. ぼくたちの運動場 | D (19) 生命の尊さ |
| 11. 助けられた命 | D (19) 生命の尊さ |
| 12. ボランティアって、楽しいよ | D (22) よりよく生きる喜び |

「道徳の授業以外での活用」

読み物資料の紹介 小学校 5・6年 8教材

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1. 仙台で学んだこと | 5. ぼくの家族 |
| 2. 熊本地震 その時先生は | 6. 牛の命をつなぐお父さん |
| 3. おいしいお米を届けよう | 7. 布田保之助さんが笑顔になる日を |
| 4. 私のボランティア体験 | 8. 避難所での生活 |

中学校



地域の人々の努力でよみがえった
「きらめいた『水前寺成趣園の水』」。

教材の紹介

- | | |
|------------------------|---------------------------------|
| 1. 今日も笑顔で | A (4) 希望と勇気, 克己と強い意志 |
| 2. 地元紙の記者として | A (4) 希望と勇気, 克己と強い意志 |
| 3. いつか伝えたい | B (6) 思いやり, 感謝 |
| 4. 語りかける写真 | C (12) 社会参画, 公共の精神 |
| 5. ありがとう | C (13) 勤労 |
| 6. 屋根シート | C (16) 郷土の伝統と文化の尊重,
郷土を愛する態度 |
| 7. よみがえれ、阿蘇神社 | C (16) 郷土の伝統と文化の尊重,
郷土を愛する態度 |
| 8. きらめいた
「水前寺成趣園の水」 | C (16) 郷土の伝統と文化の尊重,
郷土を愛する態度 |
| 9. 小さな命 | D (19) 生命の尊さ |
| 10. 全国からのエール | D (22) よりよく生きる喜び |
| 11. 祖父の涙 | D (22) よりよく生きる喜び |
| 12. 「正念場!!」だモン | D (22) よりよく生きる喜び |

「道徳の授業以外での活用」

読み物資料の紹介 中学校 8教材

- | | |
|--------------------------------|--------------------------------|
| 1. 前へ | 4. 熊本地震を経験して |
| 2. 負けんばい熊本 負けんばい一中生 | 5. 明るい避難所 |
| 3. その時僕たちは～熊本地震～
熊本聾学校 手話語り | 6. 復興プロジェクト「立ちあがろう嘉島町負けんばい嘉島中」 |
| | 7. そのとき～私の父と母～ |
| | 8. 多くのこと学べた体験 |

「つなぐ～熊本の明日へ～」 応援メッセージ

映像資料 DVD に込めた思い

生きていく中で思いもよらない出来事に襲われることは、
これからもあるかもしれません。
そんなとき、予測できない変化、出来事に
受け身ではなく主体的に向き合って
そのことを通して自分の可能性を見つける。
そして、よりよい社会、幸福な人生の
作り手となっていくことが大事です。
熊本の街を、地域を元気にするのは熊本の人々の心次第です。
みなさんが大きな夢や希望を持って、
その夢を実現させるために何をすればいいのか
それを考えていくことが本当の創造的復興につながります。
人と人をつなぐ、人と地域をつなぐ、熊本地震の経験をつなぐ。
あなたは、何とつながりますか？
何をつなげていきたいですか？
この教材で考えてみてください。



ジャーナリスト
池上 彰さん

1950(昭和25)年、長野県生まれ。ジャーナリスト。
東京工業大学教授、慶応大学経済学部卒業後、NHK
入局。報道記者や番組キャスターなどを努め、2005
年に独立。「伝える力」「おとなの教養」「新・戦争論」
(共著)ほか著書多数。2013年、伊丹十三賞受賞。

熊本県教育委員会

〒862-8609 熊本市中央区水前寺6丁目18番1号
TEL 096-333-2688 FAX 096-385-6718

平成31年(2019年)3月



平成 28 年熊本地震関連教材
「つなぐ～熊本の明日へ～」映像資料DVD
平成31年(2019年)春、発行

「つなぐ～熊本の明日へ～」
—映像資料DVD発行に当たって—

昨年3月、県内多くの先生方の力で「つなぐ～熊本の明日へ～」を作成し、発行することができました。この本は、私たちの大切なふるさと熊本を姿を一変させた平成28年熊本地震でのみんなの思い、願い、そして、姿を教材化したものです。

発行後は、予想をはるかに超える大きな反響が全国各地から寄せられました。「テレビや新聞では知ることのできなかつた子供たちの勇気ある行動に感動しました。」「助けあい、励ましあわれる様子を子供たちの純粋な目で観察し綴ったこの本は、涙無しには読み進めないものでしたが、拝読させて頂けば頂くほど、日本人のよいところ並びに強みが力強く浮かび上がって参りました。」「『地域のために社員が何をすべきか、どんなお手伝いができるか』、それを考える時の道しるべとしてこの『つなぐ』を活用させて頂きます。」等、感想を頂きました。

我が国は、自然災害ととなり合わせに生活をしています。しかし、その災害を乗り越える知恵や風土も育んできました。多くの方々のお礼は、私たちが直面した地震を自分のこととして捉え、私たちのこれからを励ましてくれるものばかりです。これは、私たち教師が本県のこれからを担う子供たちに望む姿でもあります。ただ、この経験が風化され、忘れられていくことも時の流れの常です。多くの学校で未永く「この時に子供たちや周囲の大人がどんなことに気付き、どんな思いで行動したのか」を伝え、それぞれの時代に合わせて、考え、話し合っていく授業が展開されていくことを願っています。

そこで、このたび、映像資料DVDを発行するに至りました。県内各地、まだまだ震災の爪痕が残っている中、被災後の状況も違います。学校や地域、そして、一人一人の子供たちの心の状況に配慮しながら、効果的に本映像資料を使っていたいだきたいと思えます。「つなぐ」、この題名に込めた思いをぜひ、先生方の言葉で、子供たちに語りかけていただくことを願っています。

平成31年(2019年)3月

熊本県教育委員会

平成28年熊本地震関連教材「つなぐ～熊本の明日へ～」の教材
(小学校1・2年、3・4年、5・6年、中学校)を、
イラストや写真に音声ナレーションや効果音を合わせて映像化しました。



教材の特徴

4つの視点から作成しています



～「つなぐ～熊本の明日へ～」を活用する前に・・・～

道徳の授業は、「教材を学ぶ」のではなく、教材を通して、自分の生き方を考える時間です。すなわち、熊本地震を学ぶのではなく、熊本地震を通して、自己を見つめ、「自分はこれからどうしたらよいか。」と自分の生き方について考える時間にするのが重要です。

学習指導要領解説特別の教科 道徳編においては、「郷土の特色を生かせる教材は、児童生徒にとって特に身近なものに感じられ、教材に親しみながら、ねらいとする道徳的価値について考えを深めることができるため、地域教材の開発や活用にも努めることが望ましい。」と示されています。

本教材を活用することで、2度にわたる大きな地震を経験している子供たちは、教材の登場人物の判断や心情等を自分との関わりで多面的・多角的に考えることにより、道徳的価値の理解や自己の生き方についての考えを深めていくことが大切です。

しかし、子供たちの心のケアについては、長期的に取り組んでいく必要があります。教材の活用に当たっては、学校、子供たちの実態を十分把握した上で、活用いただくようお願いします。(教師用指導資料P4「活用にあたっての配慮事項」参照)



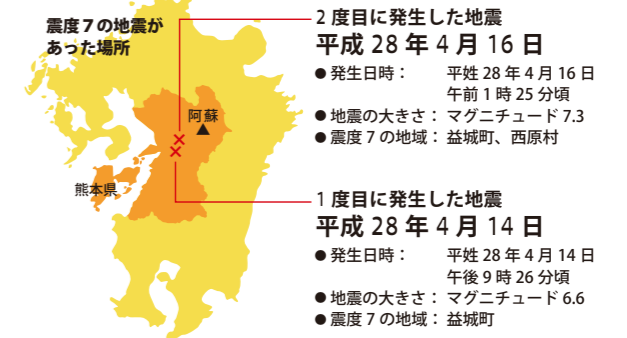
(参考)

震度7を28時間以内に2回観測したのは、観測史上初めてのことでした。亡くなった人は200人を超え、避難した人は18万人以上、建物の被害も19万棟を超えました。「つなぐ」の巻末には、各学年に応じた「平成28年熊本地震」というページを設けています。

● 県内の被害データ (県集約分、熊日まとめ)

直接死	50人(熊本市4、南阿蘇村16、西原村5、御船町1、嘉島町3、御船町20、八代市1)		
震災関連死	215人(熊本市81、嘉島町2、大津町4、合志市7、益城町25、菊池市4、八代市3、南阿蘇村14、御船町9、甲佐町3、宇土市10、宇城市12、高森町3、阿蘇市20、氷川町3、西原村4、菊陽町6、美里町2、山都町3)		
大雨による二次災害死	5人(熊本市5、宇土市2、上天草市1)		
負傷者	2,737人	住宅	198,448棟
仮設の入居状況	県内	県外	合計
建設型仮設住宅	2,231戸、5,254人	—	2,231戸、5,254人
借り上げ型 みなし仮設住宅	6,019戸、13,434人	51戸、91人	6,070戸、13,525人
公営住宅など	161戸、394人	12戸、20人	173戸、414人

平成31年2月14日付、熊本日日新聞より





内容項目の指導の観点



A 主として自分自身に関すること

B 主として人との関わりに関すること

C 主として集団や社会との関わりに関すること

D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること

キーワード（小学校）	小学校第1学年及び第2学年（19）	小学校第3学年及び第4学年（20）	小学校第5学年及び第6学年（22）	中学校（22）	キーワード（中学校）	
A 主として自分自身に関すること	善悪の判断, 自律, 自由と責任	(1) よいことと悪いこととの区別をし, よいと思うことを進んで行うこと。	(1) 正しいと判断したことは, 自信をもって行うこと。	(1) 自由を大切にし, 自律的に判断し, 責任のある行動をすること。	自主, 自律, 自由と責任	
	正直, 誠実	(2) うそをついたりごまかしをしたりしないで, 素直に伸び伸びと生活すること。	(2) 過ちは素直に改め, 正直に明るい心で生活すること。	(2) 誠実に, 明るい心で生活すること。		
	節度, 節制	(3) 健康や安全に気を付け, 物や金銭を大切に, 身の回りを整え, わがままをしないで, 規則正しい生活をする。	(3) 自分でできることは自分でやり, 安全に気を付け, よく考えて行動し, 節度のある生活をする。	(3) 安全に気を付けることや, 生活習慣の大切さについて理解し, 自分の生活を見直し, 節度を守り節制に心掛けること。		(2) 望ましい生活習慣を身に付け, 心身の健康の増進を図り, 節度を守り節制に心掛け, 安全で調和のある生活をする。
	個性の伸長	(4) 自分の特徴に気付くこと。	(4) 自分の特徴に気付き, 長所を伸ばすこと。	(4) 自分の特徴を知って, 短所を改め長所を伸ばすこと。		(3) 自己を見つめ, 自己の向上を図るとともに, 個性を伸ばして充実した生き方を追求すること。
	希望と勇気, 努力と強い意志	(5) 自分のやるべき勉強や仕事をしっかりと行うこと。	(5) 自分でやろうと決めた目標に向かって, 強い意志をもち, 粘り強くやり抜くこと。	(5) より高い目標を立て, 希望と勇気をもち, 困難があってもくじけずに努力して物事をやり抜くこと。		(4) より高い目標を設定し, その達成を目指し, 希望と勇気をもち, 困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げること。
	真理の探究			(6) 真理を大切に, 物事を探究しようとする心をもつこと。		(5) 真実を大切に, 真理を探究して新しいものを生み出そうと努めること。
B 主として人との関わりに関すること	親切, 思いやり	(6) 身近にいる人に温かい心で接し, 親切にすること。	(6) 相手のことを思いやり, 進んで親切にすること。	(7) 誰に対しても思いやりの心をもち, 相手の立場に立って親切にすること。	思いやり, 感謝	
	感謝	(7) 家族など日頃世話になっている人々に感謝すること。	(7) 家族など生活を支えてくれた人々や現在の生活を築いてくれた高齢者に, 尊敬や感謝の気持ちをもって接すること。	(8) 日々の生活が家族や過去からの多くの人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝し, それに応えること。		
	礼儀	(8) 気持ちのよい挨拶, 言葉遣い, 動作などに心掛けて, 明るく接すること。	(8) 礼儀の大切さを知り, 誰に対しても真心をもって接すること。	(9) 時と場をわきまえて, 礼儀正しく真心をもって接すること。		(7) 礼儀の意義を理解し, 時と場に応じた適切な言動をとること。
	友情, 信頼	(9) 友達と仲良くし, 助け合うこと。	(9) 友達と互いに理解し, 信頼し, 助け合うこと。	(10) 友達と互いに信頼し, 学び合って友情を深め, 異性についても理解しながら, 人間関係を築いていくこと。		(8) 友達の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち, 互いに励まし合い, 高め合うとともに, 異性についての理解を深め, 悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めていくこと。
	相互理解, 寛容		(10) 自分の考えや意見を相手に伝えるとともに, 相手のことを理解し, 自分と異なる意見も大切にすること。	(11) 自分の考えや意見を相手に伝えるとともに, 謙虚な心をもち, 広い心で自分と異なる意見や立場を尊重すること。		(9) 自分の考えや意見を相手に伝えるとともに, それぞれの個性や立場を尊重し, いろいろなもの見方や考え方があることを理解し, 寛容の心をもって謙虚に他に学び, 自らを高めていくこと。
C 主として集団や社会との関わりに関すること	規則の尊重	(10) 約束やきまりを守り, みんなが使う物を大切にすること。	(11) 約束や社会のきまりの意義を理解し, それらを守ること。	(12) 法やきまりの意義を理解した上で進んでそれらを守り, 自他の権利を大切に, 義務を果たすこと。	違法精神, 公德心	
	公正, 公平, 社会正義	(11) 自分の好き嫌いにとられないで接すること。	(12) 誰に対しても分け隔てをせず, 公正, 公平な態度で接すること。	(13) 誰に対しても差別をすることや偏見をもつことなく, 公正, 公平な態度で接し, 正義の実現に努めること。		
	勤労, 公共の精神	(12) 働くことのよさを知り, みんなのために働くこと。	(13) 働くことの大切さを知り, 進んでみんなのために働くこと。	(14) 働くことや社会に奉仕することの充実感を味わうとともに, その意義を理解し, 公共のために役に立つことをすること。		(12) 社会参画の意識と社会連帯の自覚を高め, 公共の精神をもってよりよい社会の実現に努めること。
	家族愛, 家庭生活の充実	(13) 父母, 祖父母を敬愛し, 進んで家の手伝いなどをして, 家族の役に立つこと。	(14) 父母, 祖父母を敬愛し, 家族みんなで協力し合って楽しい家庭をつくること。	(15) 父母, 祖父母を敬愛し, 家族の幸せを求めて, 進んで役に立つことをすること。		(13) 勤労の尊さや意義を理解し, 将来の生き方について考えを深め, 勤労を通じて社会に貢献すること。
	よりよい学校生活, 集団生活の充実	(14) 先生を敬愛し, 学校の人々に親しんで, 学級や学校の生活を楽しくすること。	(15) 先生や学校の人々を敬愛し, みんなで協力し合って楽しい学級や学校をつくること。	(16) 先生や学校の人々を敬愛し, みんなで協力し合ってよりよい学級や学校をつくるとともに, 様々な集団の中での自分の役割を自覚して集団生活の充実に努めること。		(14) 父母, 祖父母を敬愛し, 家族の一員としての自覚をもって充実した家庭生活を築くこと。
	伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度	(15) 我が国や郷土の文化と生活に親しみ, 愛着をもつこと。	(16) 我が国や郷土の伝統と文化を大切に, 国や郷土を愛する心をもつこと。	(17) 我が国や郷土の伝統と文化を大切に, 先人の努力を知り, 国や郷土を愛する心をもつこと。		(15) 教師や学校の人々を敬愛し, 学級や学校の一員としての自覚をもち, 協力し合ってよりよい校風をつくるとともに, 様々な集団の意義や集団の中での自分の役割と責任を自覚して集団生活の充実に努めること。
	国際理解, 国際親善	(16) 他国の人々や文化に親しむこと。	(17) 他国の人々や文化に親しみ, 関心をもつこと。	(18) 他国の人々や文化について理解し, 日本人としての自覚をもって国際親善に努めること。		(16) 郷土の伝統と文化を大切に, 社会に尽くした先人や高齢者に尊敬の念を深め, 地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し, 進んで郷土の発展に努めること。
						(17) 優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献するとともに, 日本人としての自覚をもって国を愛し, 国家及び社会の形成者として, その発展に努めること。
D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること	生命の尊さ	(17) 生きることのすばらしさを知り, 生命を大切にすること。	(18) 生命の尊さを知り, 生命あるものを大切にすること。	(19) 生命が多くの生命のつながりの中にあるかけがえのないものであることを理解し, 生命を尊重すること。	生命の尊さ	
	自然愛護	(18) 身近な自然に親しみ, 動植物に優しい心で接すること。	(19) 自然のすばらしさや不思議さを感じ取り, 自然や動植物を大切にすること。	(20) 自然の偉大さを知り, 自然環境を大切にすること。		
	感動, 畏敬の念	(19) 美しいものに触れ, すがすがしい心をもつこと。	(20) 美しいものや気高いものに感動する心をもつこと。	(21) 美しいものや気高いものに感動する心や人間の力を超えたものに対する畏敬の念をもつこと。		(21) 美しいものや気高いものに感動する心をもち, 人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深めること。
	よりよく生きる喜び			(22) よりよく生きようとする人間の強さや気高さを理解し, 人間として生きる喜びを感じる。		(22) 人間には自らの弱さや醜さを克服する強さや気高く生きようとする心があることを理解し, 人間として生きることの喜びを見いだすこと。